



# あきたの 地域医療通信

2012年6月 第13号

発行／秋田県健康福祉部医務薬事課  
医師確保対策室

この度、秋田県で初めてとなる日本プライマリ・ケア連合学会認定の「秋田県総合診療・家庭医養成プログラム」による研修がスタートしました。

このプログラムの主な研修のステージとなる秋田県総合診療・家庭医養成研修センターのさいとう たかし齊藤 崇 センター長（秋田組合総合病院副院長）からお話を伺いました。

## プログラム策定のきっかけ

平成12年頃、新臨床研修制度の導入が決まった当時私は大学にいましたが、何人かの先生と一緒に研修体制を構築することになりました。その時に初めてプライマリ・ケアを中心にした幅広い診療能力育成のためのプログラム開発について本気で勉強することになったわけです。幸いなことに、このことがきっかけで、全国で草分け的に活動をしてこられた先生をはじめ、県内外の数多くの指導医の先生方と強い繋がりを持つことができました。

こうした先生方との繋がりを通して、プライマリ・ケアの領域に携わる人材を育てることの重要性を研修を行う立場の者として肌で感じたことが、今回、研修センター開設のお話を受け、総合医研修プログラム策定のきっかけの一つになっていると思います。

また、秋田県では高齢化が進んでおり、当院でも高齢の患者さんが増えてきています。一人で複数の病気を持っていることはむしろ当たり前ですし、例えば「今日は1日で3つの科を受診しなければならない」といった話も珍しくありません。一方で患者さんの9割がコモディージーズ（一般的な病気）であるといった統計データもあります。

患者さんを総合的に診ることのできるセクションがあれば、患者さんの負担軽減にもなり、専門医の先生方の負担軽減にも繋がります。

さらに病院の救急部門に目を向けると、救急という病院機能は実は専門医の先生に専門以外の仕事を強いることで成り立っている部分が多いといえます。言い換えると、今の病院は各科専門医の先生が自分の専門領域の仕事をしているだけでは成り立たなくなっているということだと思います。

その上でこれからの人口構成の見通しをみても、患者さんを総合的に診ることのできる人材の育成とその活躍の場として「総合診療」というセクションを設置し、一般的な病気に関しては包括的にマネジメントをし、必要な場合にはきちんと専門医への橋渡しをする、そうした仕組みが今後の地域医療では重要な鍵を握ることになると思い、このプログラムを策定しました。



齊藤 崇 センター長



## 研修プログラムと秋田の地域医療

研修センターでは、基本的には日本プライマリ・ケア連合学会認定プログラム等に基づいた研修を実施しますが、研修修了後は、同学会の家庭医療専門医に加え、認定内科医及び日本在宅医学会認定専門医、三つの受験資格を得ることができます。「総合医」には救急医から家庭医まで様々なスタイルがあるのですが、本プログラムが目指す医師像は、1)比較的大きな病院の初療部門を担当する「救急・総合診療医」、2)内科系一般の外来・入院診療にあたる「病院総合医(ホスピタリスト)」、3)そして診療所をベースに在宅を含めて活躍する「家庭医」の3つです。この中で「家庭医」は日本ではこれまで開業の先生方が地域で担ってこられた「かかりつけ医」の役割に近いと考えていますが、これまでは各先生方の不断の努力(自学学習)と豊富な経験の上に成り立ってきた訳ですが、臨床研修義務化世代である若い先生方には‘体系づけた総合医教育’が必要であると思っています。

本プログラムで研修を修了した先生が、研修を通して得た知識、スキル、そして医療者としてのプロフェッショナルリズムをまた次の世代の医師へと繋げていく、この繰り返しが将



来の秋田の地域医療をより安定したものにしたいと思います。

今年度は研修医2名でスタートしていますが、研修センターの全員が「患者さんのために」という理念の下、現場での立ち位置や志を大切に、このプログラムが少しでも将来の地域医療にとってプラスになるよう、責任者として努めていきたいと思っています。最近では、研修の様子に興味を持ってのぞいていく臨床研修中の先生や、プログラム内容についてお問い合わせをいただくことも増えてきました。

興味のある方は遠慮なく御連絡ください。

私たちと一緒に楽しみながらやってみませんか!

## 総合診療・家庭医養成プログラムの研修を見学してみませんか?

本年4月から研修がスタートしています!!

実際の研修風景や研修施設の見学は、随時受付していますのでお気軽にご連絡ください。

※研修カリキュラムを記載したパンフレットなど関係資料は直ちにお届けいたします。

《お問い合わせ》 秋田県健康福祉部 医師確保対策室  
☎ 018(860)1410  
e-mail:ishikakuho@pref.akita.lg.jp



## 秋田県職員医師募集しています。

秋田県内の自治体病院等で診療に従事していただける医師を県職員として採用します。

勤務期間は  
4年間で1単位

- ◎3年間は県内の自治体病院等に勤務
- ◎残りの1年間は希望する国内外の医療・研修施設において、有給の研修・研究機関とすることが可能

ご連絡いただければ、直ちに申し込み書類一式を送付いたします。

<http://www.pref.akita.lg.jp> (美の国あきたネット)

検索



# 秋田大学医学部附属病院に シミュレーション教育センターが完成しました！！

秋田大学医学部附属病院にシミュレーション教育センターが完成し、本年3月15日に開設されました。

この教育センターは、多彩なバーチャルリアリティシミュレータを用いた内視鏡下手術、腹腔鏡下手術、関節鏡下手術等の低侵襲手術の訓練による技術習熟や、実際の医療現場と同様の環境を再現して緊急時対応などのトレーニングも可能であり、医療技術が高度化・複雑化する中において、幅広い分野における実践的な研修を行うことができる施設です。

また、当センターは、秋田大学医学部附属病院の医療従事者のみならず、県内の医療関係者も利用可能であり、学生教育、初期研修、後期研修、専門医育成における基本診療技術から高度専門医療技術の習得、医療従事者における技術習得、生涯教育における研鑽のほか、出産・育児等で休職している女性医師や看護師などの医療従事者も、それぞれの目的に応じて効果的な研修を行うことができるなど、今後の秋田の医療保健福祉の一層の充実を担う、全国に誇れる魅力ある施設となっています。



シミュレーション教育センター

平成24年1月竣工  
構造：RC3 延面積：1,347m<sup>2</sup>



研修の様子

## レジナビフェア in 大阪 & 東京

医学生のために臨床研修指定病院合同セミナー（主催：メディカル・プリンシプル社）が東京ビックサイト等で開催されます。今年も「秋田県病院群（臨床研修協議会）」として参加しますので、お気軽にお越しください。

大阪会場 | 平成24年7月1日（日） 10:00～17:00  
インテックス大阪：1・2号館  
（大阪府大阪市住之区南港北）

東京会場 | 平成24年7月15日（日） 10:00～17:00  
東京ビックサイト：東1・2ホール  
（東京都江東区有明）





# 指導医メッセージ



中通総合病院  
循環器科長  
佐藤 誠 先生



私は能代市(旧二ツ井町)の農家の生まれで、大学入学までは修学旅行以外に県外に出た事がなかったというくらい生粋の秋田育ちで、秋田弁しかしゃべれません。入学当初は二ツ井町長を目指していたはずでしたが、気が付いたら内科医15年目、町長(市長)は諦めました。循環器疾患で通院中の患者さんは高齢の方が多く、外来でも好きなだけ秋田弁で会話できるので楽チンです。

内科認定医を取得後、大阪の大きな病院でカテーテル治療の勉強をしてきました。20名近い循環器内科医集団で年間700例以上のカテーテル治療をこなすいわゆるメガ施設のカテ室は、患者治療の成績・効率も良く、また修練医の治療手技の向上の場としても非常に良くできたシステムに

なっています。一方で、クリティカルパスに乗って非常に多くの患者さんが通り過ぎていくため、一人ひとりとの対話は少なく、医師患者関係は治療の成否が全ての関係となってしまうがちです。訴訟も経験しました。何科でもそうだと思いますが、臨床の場では治療に関わることを早期に身につける事を期待され、診断学がおろそかなまま、患者家族との関わり方もごちないままに、治療手技だけが一丁前になりがちです。

秋田に戻ってからは、目の前の患者さんの背景をしっかり把握し、自分で診断し、考え相談しながら治療をし、フォローアップをすることで、自分にフィードバックするという本来の内科医としてのバランスを取り戻しつつある気がしています。研修医を指導したり、秋田弁で仕事できるのもうれしいですね。

医局内や院内他職種との関わりが深いのも秋田ならではの。お酒好き・見栄っ張りの秋田県民は冠婚葬祭や忘新年会に力を入れます。卒後県内での研修を検討している方は、何かしら余興もできた方が良いでしょう。参考までに、不肖佐藤の忘年会ウクレレ漫談を紹介しましょう(作曲牧しんじ/作詞まこしんじ)。

G 出勤時間は朝7時  
C セブイレブン  
D7 それでも2人目

G 帰宅は午後の11時  
G いい気分  
G できちゃった  
(ホントに俺の子か?)

\*C あ〜あっあん  
D7 あ〜ああん

G やんなっちゃった〜  
G おどろいた〜



あきたの  
病院紹介 vol.13

## 秋田大学医学部附属病院

〒010-8543 秋田県秋田市広面字蓮沼44-2  
Tel 018-834-1111 (代表)

当院では、平成18年度から病院再開発整備計画を開始し、新病棟が完成しています。新病棟は、地上8階、地下1階の建物で、1階には、救急部門と内視鏡・超音波センターがあり、2階は病室と多目的室、3階から8階まではすべて病室となっております。平成25年度には、病院施設の再開発が終了する予定で、今後とも高度かつ専門性の高い医療を目指し、教育、研究の充実を図り、県内唯一の特定機能病院としての使命を果たすべく努力していきます。また、平成24年3月15日に秋田大学医学部附属病院シミュレーション教育センターが開設され、県内の種々の医療関係者に利用してもらえるように環境を整えております。

当院の初期研修は、秋田県内のほぼ全ての病院・東京医科歯科大学医学部附属病院との研修が可能であり、一人一人の希望に応じたテーラーメイド研修が特徴で、初期研修期間のみならず、後期研修、専門医習得まで見据えた一貫したキャリアプランを構築することもできます。また、週一回行われるプライマリーケア特訓セミナーをはじめとした各種セミナーで、研修をサポートする体制もできています。さらに、症例検討会や、学会での発表の機会も多く、自然とプレゼンテーション能力が身につけられます。初期研修、後期研修を是非秋田大学医学部附属病院で!お待ちしております!



第二病棟スタッフステーション

… お問い合わせ先 …

E-mail : [ishikakuho@pref.akita.lg.jp](mailto:ishikakuho@pref.akita.lg.jp) Tel. 018-860-1410  
秋田県健康福祉部医務薬事課 医師確保対策室 〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号